2026年11月6日

各 位

上場会社名　　スーパーバッグ株式会社
代表者　　代表取締役社長　樋口肇
（コード番号 3945 東証スタンダード市場）
問合せ先　　経理部長　鈴木崇之
（ＴＥＬ　　04-2938-1244）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	29,000	920	980	710	478.24
今回修正予想（B）	29,000	550	590	460	309.49
増減額（B－A）	―	△370	△390	△250	
増減率（%）	―	△40.2	△39.8	△35.2	
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	28,162	758	828	800	539.29

2027年3月期通期個別業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	28,500	890	950	700	471.51
今回修正予想（B）	28,500	540	590	460	309.49
増減額（B－A）	―	△350	△360	△240	
増減率（%）	―	△39.3	△37.9	△34.3	
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	27,670	767	832	636	428.92

２．修正の理由

売上高につきましては、物価上昇を背景にした有料化の影響から手提袋の販売数量が減少した一方、ＥＣ需要の取り込みによる宅配袋の拡販及び価格改定を実施したことにより、概ね予想通りの推移となる見通しです。

利益面につきましては、海外品の流入や手提袋の受注数が低下したことに加えて、生産設備の保全対応に伴い稼働率が低下したことから、生産損益が悪化いたしました。また、価格改定に先行して原材料等の調達額が急激に上昇したことや、生産拠点の設備刷新、基幹システムへの投資に伴うコストが増加したことなどから営業利益、経常利益、当期純利益が前回発表予想値を下回る見通しとなりました。

この度の業績予想の下振れを厳粛に受け止め、今後は既存の取り組みにとどまらず、収益構造の抜本的な改善に向けた施策の実行水準を一段引き上げ、早期の業績回復に全力を尽くしてまいります。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上